



「ふれあい」では、病院からのお知らせを始め、病気と治療、予防法、保険に関することなど、身近な情報をピックアップして紹介します。

01 紹介状なしで受診する場合の診療料などを変更します

国の診療報酬改定に伴い、令和4年10月1日から、他の医療機関の紹介状なしで当院を受診する場合にご負担いただく選定療養費が右表のとおりとなります。また、現在、当院受診中で、新たに他の診療科を受診する方（院内紹介を除く）や子ども医療費受給者の方、母子・父子家庭医療費受給者の方についても新たにご負担をいた

く対象となります。

初診時には紹介状をお持ちの上、受診していただきますようお願いいたします。

	変更前	変更後
初診時に他の医療機関の紹介状がない場合	医科 5,500 円 歯科 3,300 円	医科 7,700 円 歯科 5,500 円

02 片頭痛・慢性頭痛でお悩みの方へ

■日本人の8%が片頭痛もち？

頭痛は誰もが経験したことがある症状ですが、その原因は多岐にわたります。人口の8%は片頭痛もちと言われており、長年頭痛に悩まされている方は少なくありません。頭痛により、仕事、学業、家事など日常生活に影響が及んでいる方も多くいらっしゃいます。

■頭痛外来をご利用ください

近年、頭痛に対する新しい治療法が発達し、頭痛をコントロールし、日常生活の質を向上させることのできる方が増えております。このため、正確な診断に基づく治療がますます重要となってきました。当院の頭痛外来では、頭痛でお悩みの方、詳しい診断や新しい治療にご興味のある方を広く診療します。専門的な問診や検査などに基づき、頭痛の詳細な診断を行い、適切な治療・対処法をお伝えします。

なお、突然発症した激しい頭痛などの場合は、総合診療科、救急科、脳神経内科、脳神経外科などへの受診をお願いします。

■予約と受診方法

頭痛外来の受診を希望の患者様でかかりつけ医がある場合は、かかりつけの医療機関からご紹介のうえ、ご予約いただきますようお願いいたします。医療機関で症状等をご確認いただき、問診票にご記入のうえご来院ください。

頭痛外来のことをホームページ等でお知りになり、直接受診されたい場合は、ご来院のうえ頭痛外来を受診したい旨を受付でお申し出ください。この場合も問診票にご記入のうえ、症状を確認してご来院ください。

ただし、直接受診された場合は、待ち時間が長くなること、また、診療費とは別に初診選定療養費がかかる可能性があることをご承知おきください。

■頭痛外来の診察日・担当医師

火曜日/加納 裕也 医師

金曜日/山本 光晴 医師



03 妊娠と薬について

薬局
相談

妊娠中、おなかにいる赤ちゃんは胎盤を通してお母さんから栄養をもらっています。お薬の成分も胎盤を通して赤ちゃんに届くため、妊娠中のお薬の使用については慎重にならなければいけません。

しかし、妊娠中にお薬を使うことが悪いことばかりではありません。お母さんが快適に過ごすことが、健やかな赤ちゃんが育つことにつながります。妊娠中にお薬を使用することが、赤ちゃんを守る場合もあるのです。

体調が悪い場合には、我慢せず医師や薬剤師にご相談ください。



04 メッセージBOX Q&A



院内各所に皆さんからのご意見やご要望をお受けする「メッセージボックス」を設置しています。ここでは、お寄せいただいたご意見、ご要望の一部を紹介します。

Q 病院内に Wi-Fi を設定してほしい。

A 当院では、4月から、公衆無線 LAN インターネット接続サービス（患者用 Wi-Fi）の提供を開始しました。利用するフロアによって Wi-Fi 名（SSID）やパスワード、利用可能時間が異なりますので、院内掲示のポスター等をご確認ください。

詳しくはこちらの QR コードから →



05 がんサロンのご案内

がんサロンは、療養上の悩みや不安など、同じ思いを持った仲間同士が、がんとともに生きていくための暮らしの工夫や病気に対するさまざまな情報を交換する場です。一人で抱え込まず、お気軽にご参加ください。

日時：2・6・10月 第2火曜日 14時～

場所：豊川市民病院 講堂

内容：医師や専門医療スタッフによるミニレクチャー、おしゃべり会など

対象：がん患者さんとそのご家族

定員：10名（先着順）

申込：電話で、患者サポートセンター患者相談グループ 0533-86-1111（代表）へ



■新型コロナウイルス感染症の状況により中止する場合があります。

06 7月の行事食



七夕メニュー

毎月旬の食材を使用した「行事食」を用意し、メッセージカードを添えて、患者さんへ提供させていただきます。

7月の行事食のテーマは七夕。七夕にそうめんを食べる習慣は中国の言い伝えによるものです。そうめんは「索餅（さくべい）」という中国の料理が起源とされており、これを食べると疫病の流行が治まったと言われていています。病気に負けない体を作るため、食事のバランスを考え、健康的な食生活を送りましょう。

